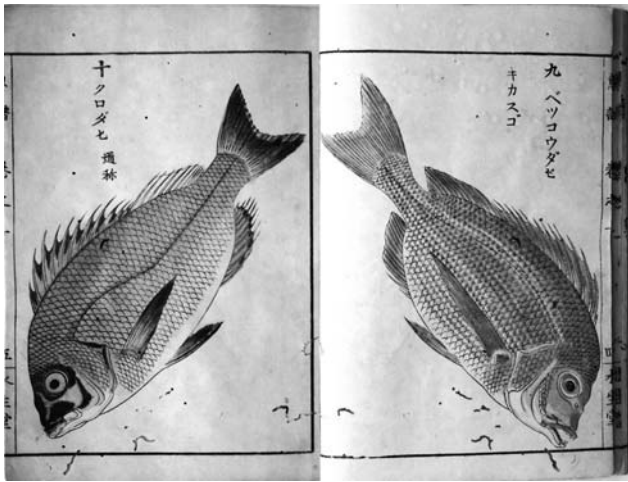


水族写真

(38—36) 2冊

岩瀬文庫学芸員 林知左子

タイトルにある「写真」とは「真実を写すもの」の意で、カメラ舶来以前は、本物そっくりに描いた肖像画や写生図のことを指す言葉でした。本書は、安政4(1857)年刊行の2冊組みの魚譜です。『水族写真・鯛部』と題した上巻には、マダイやクロダイをはじめ「タイ」と名の付く90種の魚(中にはオニダイ・マツカサウオなどタイの仲間でないものも含む)の精密な多色刷り木版画が掲載されています。大ぶりなうろこの型押しを施した朱色の表紙は、タイのイメージを表現したものでしょうか。別冊の解説文編『水族写真鯛部説』には、各魚の方言や漢名、詳細な形態



▶本書はただいま開催中の岩瀬文庫企画展「魚・サカナ・さかな」に出品中です。ぜひ、ご覧ください。から刊行されませんでした。

漁獲の地域や時期、味などが記されています。著者の奥倉辰行(？〜1859)は、江戸神田の青物商(八百屋)でした。幼いころから絵が巧みで、それを認めた考証学者の狩谷敏齋の助言で毎日魚市場へ通い、魚類の観察や精密な写生に傾注したといわれています。青物商が魚市場へ日参するとは面白いですね。そのかいあって、魚仙と号し、1000種を超す魚類の彩色図譜を著しました。この『水族写真』も、「鯛部」を第1巻として、以下ほかの魚の部も続刊予定であったらしいのですが、残念ながら

キッズアルバム



このか
角谷 心華ちゃん
(米津町)

平成24年3月生まれ
お出掛け大好きこのちゃん♡元気いっぱい優しい子に育ててね!!



そら
古居 大空くん
(一色町)

平成24年4月生まれ
大空くんの笑顔で家族も元気!生まれてきてくれて、ありがとう♡



かいと
大矢 開登くん
(富山町)

平成23年11月生まれ
開登♡輝く未来を切り開いて、強い心で登っていきますように…☆



しょうた
中島 翔太くん
(戸ヶ崎五丁目)

平成24年5月生まれ
毎日ステキな笑顔ありがとう!元気に、すくすく育ててね♡



ゆうき
岸元 優樹くん
(一色町)

平成23年4月生まれ
車遊びが大好きな優樹。優しいお兄ちゃんになって☆



きおり
酒井 希織ちゃん
(寺津町)

平成23年11月生まれ
どんな表情も愛らしい希織♪生まれてきてくれて、ありがとう。



りょうすけ
浅野目 椋介くん
(道光寺町)

平成24年5月生まれ
いつも笑顔の椋くん♡毎日パパとママを癒やしてくれてありがとう。



福川 うららちゃん
(伊藤四丁目)

平成23年3月生まれ
お世話好き、しっかり者のうららちゃん。小さなママだね!

